



Sustainability
Report 2026

シママース本舗 サステナビリティレポート

Sustainability Report

株式会社青い海



Contents

本レポートについて

1. シママース本舗の歴史と歩み

- 1.1 シママース本舗とはどんな会社？
- 1.2 シママース本舗の歩み
- 1.3 沿革
- 1.4 シママース本舗のこだわり
- 1.5 沖縄への貢献
- 1.6 社長メッセージ

2. シママース本舗のパーパス・企業理念・行動規範

- 2.1 パーパス
- 2.2 企業理念
- 2.3 行動規範

3. シママース本舗の未来戦略と展望

- 3.1 未来戦略と展望
- 3.2 未来戦略と展望に向けた三本の柱

4. シママース本舗のマテリアリティ

- 4.1 事業課題の洗い出しと評価
- 4.2 シママース本舗のマテリアリティ（重要課題）
- 4.3 ライフサイクルアセスメント（LCA）

5. 環境への取り組み

- 5.1 達成目標・戦略アクション・2025年度の進捗状況
- 5.2 CO₂排出量とエネルギー消費原単位の算定
- 5.3 平釜から立釜への転換
- 5.4 立釜・遠心分離機の導入における工程の変化

6. 人・社会への貢献

- 6.1 達成目標・戦略アクション・2025年度の進捗状況
- 6.2 安心・安全な製品の提供
- 6.3 ダイバーシティ&インクルージョン
- 6.4 地域社会への貢献

7. ガバナンスの強化

- 7.1 達成目標・戦略アクション・2025年度の進捗状況
- 7.2 ガバナンス体制
- 7.3 従業員1人1人の自律性を支援するための取り組み
- 7.4 EHSコンプライアンスの状況

8. 外部認証

報告範囲・発行日

報告対象組織：株式会社青い海

発行時期：2026年6月

報告対象期間：2025年4月～2026年3月

※ 報告の一部に、それ以前からの取り組み及び2026年4月以後の活動と将来の見通しを含む。

問い合わせ先：シママース本舗(株式会社青い海) サステナビリティ推進委員会



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

本レポートについて

本レポートは、当社がどのようなパーパス・企業理念・行動規範に基づき行動し、どのような顧客・社会課題に取り組み、どのような未来を描いているのかをまとめています。私たちが事業活動に関する情報を本レポートを通じて開示する背景には、以下の想いがあります。

透明性の高い企業活動をお約束するために

私たちの事業は多くのステークホルダーの信頼によって支えられています。だからこそ、当社がどのように意思決定を行い、どのように環境・社会・ガバナンスの課題に向き合っているのかを、できる限り透明性を持ってお伝えしたいと考えています。本レポートでは、当社の歴史、パーパス・企業理念・行動規範、事業の特徴、環境・社会・ガバナンスに関する取り組み状況を明確に示し、皆さまにより深くご理解いただくことを目指しています。

長期的な信頼関係を築き続けるために

私たちの事業の根幹は、取引先企業、従業員、地域社会など、幅広いステークホルダーとの協働にあります。当社は、持続可能な事業成長は「信頼関係の深化」があってこそ実現できると考えています。本レポートは、当社の取り組みや姿勢をお伝えし、これからも末永く誠実なパートナーであり続けるための重要なコミュニケーション手段です。

社会的課題に対する責任ある姿勢を示すために

気候変動、製品品質の維持、人的資本、労働安全衛生など、当社を取り巻く社会課題は多岐にわたります。当社はこれらの課題に対し、自らの責任を認識し、継続的に改善に取り組んでいます。本レポートでは、それぞれの課題に対する具体的な取り組みや進捗、今後の改善方針などを掲載し、企業としての責務を果たす姿勢を明確にお伝えします。

「選ばれる企業」であり続けるために

取引先企業のサステナビリティ要求の高まりや、求職者が企業を選ぶ観点の変化など、企業評価の基準は大きく変わりつつあります。当社は、これまで以上に環境・社会への貢献を重視したガバナンスが機能する経営を展開し、ステークホルダーの皆さまから選ばれる企業であり続けたいと考えています。

本レポートは、当社の取り組みを情報開示することで、ステークホルダーの皆さまに安心して選んでいただける企業であるための礎となるものです。未来に向けて、ともに歩むための取り組みは、単に現在の活動を報告するだけでなく、当社が描く未来の姿を明確にし、皆さまと共有することにもつながります。本レポートには、私たちが目指す未来像や、達成すべき目標、目標達成のための取り組みなどを網羅しています。当社は、ステークホルダーの皆さまと共に持続可能な未来を築く企業でありたいと願っています。

本レポートが、当社の姿勢や取り組みを知っていただく一助となることを願っております。今後も率直な情報開示と対話を継続し、信頼される企業として発展してまいります。引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

1. シママース本舗の歴史と歩み

1.1 シママース本舗とはどんな会社？

当社は、沖縄の伝統的な塩づくりを現代に継承し、自然の力を活かした製品づくりを行っています。

(1) 主要製品

- 沖縄の塩シママース: 輸入天日塩を沖縄の海水で溶解し、再結晶させてつくる伝統ブランド。
- 沖縄の海水塩青い海: 沖縄県産の海水を100%原料とした高付加価値ブランド。
- スパイス・砂糖

(2) 製品と環境へのこだわり

- 無添加・無薬剤の追求: 製造工程およびその清掃工程で薬剤を使用せず、環境負荷を最小化しています。
- ライフサイクルアセスメント（LCA）の導入: 各工程の環境負荷を定量評価し、数値根拠に基づく継続的改善を実施しています。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

1.2 シママース本舗の歴史

四方を美しい海に囲まれた沖縄では、その豊かな海から生み出される塩を「マース」と呼び、大切に受け継いできました。しかし、日本への復帰後、塩専売法の規制によりこの伝統的な塩づくりが禁止され、沖縄の伝統食と調和しない状況が県内各地で生じました。こうした状況を憂慮した有志たちは、戦後の困難を乗り越えながら伝統的な「マース」を復活させるために「シママース本舗」を設立しました。この取り組みが後に「株式会社青い海」の礎となり、沖縄独自の製塩文化を守る活動が本格的に開始されました。

現在も当社の主力商品である「シママース」は、メキシコやオーストラリア産の完全天日塩を沖縄の海水で溶解し、再結晶させる独自の製法を採用して製造されています。創業当初は沖縄市高原に工場を構えていましたが、その後沖縄市比屋根(ひやごん)工場を経て、1992年には糸満市西崎へ本社工場を移転しました。この移転により、生産効率や品質管理が大幅に向上し、時代の変化にも柔軟に対応しながら、伝統の味を守り続けてきました。

1997年4月、塩専売法の廃止を契機に、当社は沖縄の海水のみから作るマースの製造を開始しました。県内初の塩製造メーカーとして、長年培ってきた経験とノウハウを活かし、設立当初からの念願であった沖縄の海水100%を原料とした「海水塩」を完成させました。沖縄・糸満沖合約2,000mから取水した海水だけでつくるマース（塩）は、豊かな海の結晶であり、独特の深い旨味を持っています。

丁寧にじっくりと炊き上げられた「マース」は、時代によって食のトレンドが変化しても、あらゆる料理の基盤として欠かせない存在です。当社は品質管理を徹底し、安全で自然な食品の追求に努めるとともに、革新的な商品開発にも積極的に挑戦しています。塩づくりの基本を大切にしつつ、「安心・安全な商品の安定供給」を常に念頭に置き、絶え間ない進化を続けて参ります。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

1.3 沿革

1973 (昭和48年)

- 7月 祖国復帰と共に消えた沖縄の塩復活のため、「沖縄の青い海とマースを守る会」(以下守る会)を結成し、これが後に株式会社青い海の法人設立母体となる。
- 10月 沖縄のマースを自ら製造しようと「守る会」の有志で法人設立発起人組を創立。

1974 (昭和49年)



- 2月 株式会社青い海が那覇市で設立(登記)され、「沖縄の塩シママース」の製造許可を申請。
- 7月 日本専売公社沖縄事務局より沖縄の塩の製造工場「沖縄第1号」として許可される。
- 11月 沖縄市字高原に工場完成、それに伴い本社も同地に移転する。

1975 (昭和50年)

- 11月 試験操業後、本格操業開始。

1978 (昭和53年)

- 10月 沖縄市字比屋根に本社工場共に移転。より本格的な県外移出に乗り出す。



1981 (昭和56年)

- 11月 「シママース」を商標登録。

1987 (昭和62年)

- 2月 東京営業所を開設。

1990 (平成2年)

- 12月 沖縄の塩シママース」を商標登録。

1991 (平成3年)

- 12月 沖縄県糸満市西崎町に1万トンの製造能力を持つ新工場が完成し、本格的に操業開始。

1992 (平成4年)

- 7月 本社を沖縄県糸満市西崎町の工場敷地内に移転する。

1994 (平成6年)

- 10月 関連会社 有限会社シュアナチュラル設立。(平成14年3月株式会社に組織変更)

2005 (平成17年)



- 12月 沖縄県中頭郡読谷村に直営施設GALA青い海オープン。

2006 (平成18年)

- 9月 国際規格ISO-22000:2005 (食品安全マネジメントシステム)認証取得。

2018 (平成30年)

- 9月 ISO-22000 (食品安全マネジメントシステム)更新。(※以降、現在まで更新中)

2023 (令和5年)

- 8月 県内で初めてPIF (ポジティブ・インパクト・ファイナンス)を利用したシンジケートローンで工場リニューアル資金を調達。

2024 (令和6年)

- 1月 沖縄県「おきなわSDGS認証 (プラチナパートナー)」取得。
- 9月 本社工場リニューアル (平釜製法から立釜製法への転換) 工事が着工。

2026 (令和8年)



- 2月 本社工場リニューアル工事が完了。

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

1.4 シママース本舗のこだわり

シママース本舗は、「サステナビリティ」がまだ一般的な概念ではなかった時代から、環境と人への配慮を重視しながら事業を営んできました。その姿勢を象徴するのが、「こだわりの無添加・無薬剤の製塩プロセス」です。成分の調整を行ったり、製造時はもちろん製造後の洗浄作業等でも薬剤等は一切使用しないことにこだわっています。

さらに、原料となる海水の採取から生産の仕上げまでの工程では、環境への負荷低減と安心・安全の両立を意識します。採取した海水の成分分析を定期的に行い、また、工場からの排水・使用水の循環システムを導入し、周辺環境と調和を図るよう配慮しています。

長年の取り組みによって、自然由来の美味しさと安心・安全を追求し続けている点は、シママース本舗の原動力になっており、市場のなかで、お客さまや取引先さまからの信頼と支持へとつながっています。

沖縄でいちばん永く
愛されてきたマース。

沖縄の言葉で塩を意味する「マース」
じっくりゆっくり作られた私たちのマースは
優しく、まろやかで、料理の味に奥行きを与えます

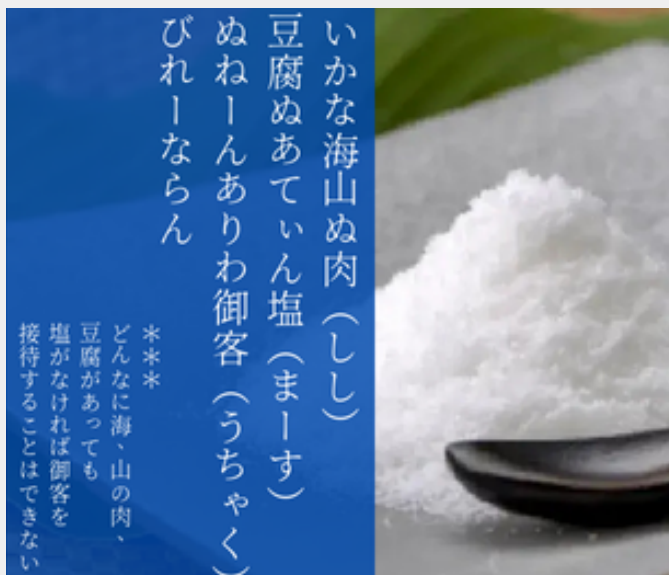


塩が一番

宜野座村の昔話では、王様の話で紹介されている。人々を集めて王様は聞いた。「この世で一番の宝は」と。ある人が「塩」と答えた。

王様は、すぐに手に入る塩を言ったので、「何を言っているのか」と、怒って、答えた人を島流しにした。

その後、しばらくの間、塩ができなかったとき、食べ物に味付けができず、美味しくなく、王様は、「本当にこの世で一番おいしいのは塩だ。あの時の話は正しかった」と、その人を呼び戻したという。



いかな海山ぬ肉（しし）
豆腐ぬあていん塩（まーす）
ぬねーんありわ御客（うちやく）
びれーならん

どんなに海、山の肉、
豆腐があっても
塩がなければ御客を
接待することはできない

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

1.5 沖縄への貢献

製塩を通じた地域貢献

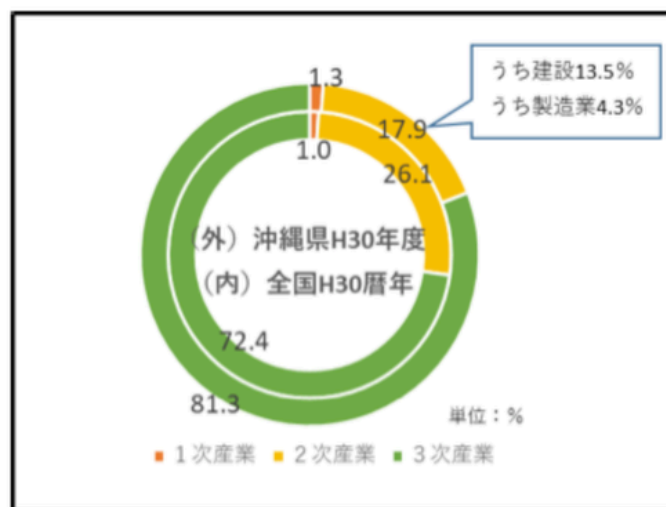
沖縄は、1972年に本土復帰を果たしましたが、復帰後も製造業の育成は十分に進みませんでした。島嶼経済特有の輸送コストの高さや、市場規模の狭さといった理由からです。製造業の発展が難しい地域とされた背景の中で、私たちは伝統的な製塩法を守りながらも、最新の技術を取り入れ、品質の高い塩を安定して供給できております。

沖縄の地理的特性や気候、海洋資源を活用した塩づくりは、地域経済活性化に大きく寄与していると考えています。地域資源を活用した持続可能な製造プロセスの実現、環境へ配慮した事業運営を継続しながら、私たちシマムース本舗は今まで以上に地域社会への貢献を目指します。

また、私たちは県内外・国外への新たな販路を開拓し、消費者に信頼されるブランド地位を確立する必要があると考えています。沖縄の産業・自然・文化を、未来へつないでいく使命を担えれば幸いです。

（図表3）産業別県（国）内総生産（名目）の構成比

項 目	構成比 (県内) H30 年度 (%)	構成比 (全国) H30 (%)
第 1 次産業	1.3	1.0
第 2 次産業	17.9	26.1
うち製造業	4.3	20.7
うち建設業	13.5	5.4
第 3 次産業	81.3	72.4



出典：おきなわのすがた（県勢概要）令和3年8月

沖縄の産業別構成比データは、地域経済の特性と課題を明確に示しています。沖縄県の名目GDPは第三次産業（サービス業、観光業など）が81.3%を占め、全国平均の72.4%を大きく上回っています。

一方、第二次産業（製造業や建設業など）は17.9%と全国平均の26.1%を下回り、その中でも特に製造業はわずか4.3%と低い割合です。このデータは、沖縄の経済が観光業やサービス業といった第三次産業に大きく依存していることを示しています。

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

おきなわブランドとしての価値向上

伝統的な製塩業を復活させた私たちシママース本舗は、沖縄ならではの美しい自然と独自の文化を国内外に発信することが出来ると考えています。

沖縄県が提唱する「おきなわブランド」としての価値を高め、県内外の消費者から愛され、選ばれるブランドを目指すことが、沖縄全体のブランド価値向上と地域経済の持続的な循環をサポートし、「稼ぐ力」を地域に根付かせることにつながると信じています。

環境に優しい製塩プロセスを採用し、省エネルギーとCO₂排出量削減を実現、さらに雇用の創出や地域社会・企業との連携、そして観光や伝統文化などの沖縄の魅力自体の発信、つまり製造業だけではなく観光業やその他のビジネスの拡がりを意識し、企業活動全体でおきなわブランドを発信することが重要だと考えています。



おきなわSDGs認証（プラチナパートナー）

当社は、沖縄県から「おきなわSDGsプラチナパートナー」に認定され、地域の持続可能な発展に貢献する企業として評価されています。この認証は沖縄県による厳正な審査を経て、環境・社会・ガバナンス、地域貢献・国際貢献の各分野での取り組み内容と、「おきなわSDGsアクションプラン」に基づく課題解決や目標達成に向けた活動が評価された結果です。

沖縄の海水を100%使用した環境に優しい製塩プロセスを採用し、教育支援や文化継承活動を通じて地域社会への貢献を積極的に行うなど、取り組みが高く評価され、2024年度は当社を含め11社が認定されました。



沖縄県人材育成企業認証

当社は、沖縄県人材育成認証企業として認証されています。本制度は、従業員が働きがいを感じ、スキルアップとキャリア形成を行うことができる人材育成に優れた企業を沖縄県が後押しするものです。沖縄県全体の働きがいのある職場作りや雇用の質向上につながり、求職者から「人材育成に優れた企業」として認知される効果があります。



沖縄県所得向上応援認証

当社は、沖縄県所得向上応援企業として認証されています。本制度は、企業として稼ぐ力の向上を図り、稼いだ所得を従業員に還元し、給与所得向上等について積極的に取り組む企業を沖縄県が後押しするものです。この取り組みにより、当社の広報活動、人材確保や他企業との交流に寄与するものと考えています。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

1.6 社長メッセージ

弊社は2025年度で創業から53期目を迎えました。当社の2025年度の大きな出来事として、リニューアルした本社工場の竣工式を2026年2月に執り行いました。新工場は4月より本稼働を開始し、製造工程の効率化と環境負荷の低減を両立した次世代型の塩づくりの拠点として始動します。

1974年（昭和49年）創業の株式会社青い海は、沖縄の自然とともに歩みながら、「自然由来の原料のみを使用し、加工助剤や添加物を一切使わない塩づくり」を一貫して守り続けてきました。2024年には創業50年の節目を迎え、次の時代に向けた持続可能なものづくりの実現を目指し、本社工場のリニューアルに着手しました。今回完成した新工場は、伝統と革新の融合をコンセプトに、長年培ってきた製塩の知見を土台としながら、最新の製造技術を導入した施設となっています。

新工場では真空式蒸発缶（立釜）を採用し、これまで以上に安定した高品質の塩の生産が可能となりました。同時に、作業環境も大きく改善されています。従来は多大な労力を要していた「塩の掻き出し作業」「脱水前の準備工程」「脱水プロセス」をワンストップで対応できる製造ラインを構築しました。高温下での過酷な作業が不要となり、従業員の身体的負担を大幅に軽減するとともに、生産性の向上を実現しました。「安全で安心なお塩は、安全で安心な職場から生まれる」—その考え方を、新工場は形にしています。

また新工場で採用した立釜には、最新のMVR（Mechanical Vapor Recompression：自己蒸気機械圧縮）方式を採用しました。MVRは、製造工程で発生する蒸気の熱を回収し、再び加熱源として循環・再利用する仕組みを持つ省エネルギー技術です。この技術の導入により、エネルギー消費量の低減によるCO₂排出量削減を実現します。これらの取り組みにより、弊社では2030年までにCO₂排出量を25%以上削減することを目標に掲げています。

新しく生まれ変わった工場から、これまで以上に高品質な製品を安定してお届けできるよう、社員一同精進してまいります。塩は「おいしさの源」であり、特に沖縄の海がもたらす塩はミネラルバランスの良さを誇ります。最新技術とサステナビリティを推進しながら、未来へ向けさらなる飛躍を目指してまいります。これまでのご支援に心より御礼申し上げますとともに、これからも地域とともに発展し、豊かな未来を築いて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 又吉元榮



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

2. シママース本舗のパーパス・企業理念・行動規範

2.1 パーパス（社会的存在意義）

「沖縄から“おいしい”の起点に」

シママース本舗は、企業理念（ミッション・行動原則・行動指針）の上位概念として、社会とのつながりを明確にすべく、当社のパーパス（社会的存在意義）を定めました。創業者の想いの原点（沖縄のために）は、そのまま私たちシママース本舗がなぜ存在するのか？に繋がっていると考えます。

私たちの考える「おいしい」は、そのままサステナブルな食材づくりにつながります。味は「おいしい」の根幹です。塩味や甘味などさまざまな要素がバランスよく含まれるマース(塩)は、料理の味を引き立て、食材本来の旨味を最大限に活かします。50年の歴史のなかで、数多くの食品製造や飲食店に採用されている実績がそのまま味のエビデンスだとも考えています。

「おいしい」環境は、豊かな自然環境と食べる人の経済的・精神的な充足から生まれるものと考え、それらが保たれた時、人は「おいしい」を心から感じるのだと思います。私たちは、人々の「おいしい」環境作りも提供できと思っています。

品質へのこだわりは、「おいしい」の基盤であると考えています。口にするものの品質が高いレベルで担保されて、人は安心・安全を感じます。海水から塩ができるまでの全工程で厳格な品質管理を行い、安心で安全な製品をお届けしています。あわせて持続可能な製塩方法を選択、採用し、環境への負荷を最小限に抑える努力も続けていきます。

最後に、「おいしい」食事は、生産者や料理人、そして食べる人の想いが重なって生まれるものです。私たちはその想いを製品作りに込め、皆さまと「おいしい」を共有します。

私たちシママース本舗は、伝統的な製塩技術と革新的なアプローチを融合させ、「おいしい」とサステナブルな未来を築いていくことを約束します。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

2.2 企業理念

（ミッションステートメント・行動原則・行動 指針・スローガン）

ミッションステートメントは、シママース本舗のパーパス実現のために行うべきことを指し、行動 原則・行動指針はそのミッションを実現するための具体的な行動の方向性を示します。これらにより当社内で統一性を持って共通の方針・目標に向かって進むことができると考えています。スローガンは短く簡潔なフレーズで、会社の目指す姿を従業員へ伝える役割を果たしています。

ミッションステートメント

私たちは、沖縄の製塩業を復活させたパイオニアとしての誇りを胸に、豊かな創造力で沖縄の海が持つすべての価値を伝え、新たな感動を生み出すことに挑戦し続けます。

行動原則・行動指針

「私たちは思いやりと勇気をもって行動します。」

• お客様とともに

私たちはお客様の視点に立ち、スピード感をもって安心してご利用いただける商品・サービスを提供します。
私たちは、食を通じてお客様のこころを豊かにする方法を探求し続けます。

• 社員とともに

私たちは安心して心から働ける職場環境を整備し、一人ひとりのゆとりと豊かさの充実を図ります。私たちは自ら考え行動し、現状に満足することなく、更なる成長を目指します。

• 地域社会とともに

私たちは沖縄の海への恩に感謝し、自然資源の保護に努めます。
私たちは地域社会の発展に寄与し、地域から愛され、信頼される企業を目指します。

スローガン

「思わず誰かに薦めたい商品・サービスを提供しよう！」

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

2.3 行動規範

行動規範はシママース本舗のミッションステートメントおよび行動原則・行動指針と一貫するものであり、当社のビジネスと社会全体における長期的成長に導く重要な基盤です。私たちは、ミッションステートメントを実現しながら、誠実さ、コミュニティへの責任、そして他者への思いやりを常に大切にします。

信頼される企業市民としての責務を果たすため、私たちは行動規範を通して、従業員に明確な指針を示し、「私たちは思いやりと勇気をもって行動する」という理念のもと、お客様、地域社会、社員とともに持続的な成長を目指します。常にステークホルダーに対し誠実に向き合い、食を通じて新たな感動と豊かさを提供することに努めます。

シママース本舗の行動規範は、業務遂行において求められる基本姿勢を以下の価値観として明示しています。

- ・ 尊重の精神
- ・ 誠実な行動
- ・ 活動に対する責任感

これらは個々が自己を律し、ビジネス活動において上司、同僚、取引先、お客様、その他の利害関係者、さらには地域社会や自然環境とどのように関わるべきかを示す指針となります。すべての役員・管理職、リーダー、従業員は、業務遂行の際に法律、規則、手続きに従い、常に誠実な行動を実践する責務を負います。

**当社は法令および社会規範を遵守し、
誠実と公平を企業活動の基本原則とすることを、ここに宣言いたします。**

**すべての資源と情報を厳格に管理し、
正確かつ透明性の高い記録をもって、ステークホルダーへの信頼に応えます。**

**人々・地域社会・自然環境への敬意と感謝を行動に結実させ、
次世代へと続く持続可能な成長を推進します。**

当社では、「思わず誰かに薦めたい商品・サービスを提供しよう!」というスローガンの下、すべての社員が自らの意見や提案、懸念を積極的に表明することを奨励しています。意見を声に出す行為は、単なる報告や問題提起にとどまらず、地域社会やお客様、そして仲間との信頼関係をより強固なものにし、革新を促進する原動力となります。経営陣や各部門のリーダーは、社員の声に真摯に耳を傾け、迅速かつ効果的に対応する体制を整えており、全員が思いやりと勇気をもって日々の業務に取り組む環境を創出しています。これにより、シママース本舗は沖縄の伝統と海の恵みを次世代へ確実に伝えとともに、持続可能な成長と新たな感動の創出を実現していきます。

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

3. シママース本舗の未来戦略と展望

3.1 未来戦略と展望

シママース本舗は、サステナビリティがまだ一般的な概念ではなかった時代から、環境や人への配慮を重視しながら事業を営んでまいりました。その姿勢を体現するのが、「こだわりの無添加・無薬剤の製塩プロセス」です。製造時だけでなく、日々の清掃でも薬剤を一切使用せず、自然の力を最大限に活かすことで、塩本来の旨みと安全性を同時に追求しています。さらに、海水の採取から仕上げまでの工程では、海洋生態系への負荷を最小限に抑えるため、取水量や排水量を管理し、循環システムを導入するなど、ライフサイクル全体で環境への配慮を徹底してきました。

こうした取り組みを基盤として、私たちは**持続可能な未来に向けた「環境保全」「従業員／地域貢献との協働」「ガバナンス強化」の三つの柱**をいっそう強化し、企業としての責任と地域社会との共生を実現するための新たな課題に取り組んでいきます。製塩プロセスの生産効率を高めるためのR&D投資や、廃棄物のリサイクル率を向上させる仕組みづくり、さらに地域の生態系保護へ積極的に関わるためのパートナーシップ強化を推進してまいります。再生可能エネルギーの活用拡大や、製品のライフサイクルを通じた環境負荷の低減にも力を入れることで、企業価値の最大化とともに、地元経済の発展や地域住民との連携にも大きく貢献していく所存です。

これらの取り組みを支える原動力は、全従業員の不断の努力と献身にほかなりません。多様性と包括性（D&I）の推進や働きやすい職場環境の整備を通じて、社員一人ひとりがキャリアを築き、自己成長を遂げられる組織をめざします。こうした社内体制が生み出すイノベーションと活力こそが、エネルギー効率の向上や新技術の導入といった挑戦の源泉となり、さらにポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）の導入やCO₂削減をはじめとするSDGsへの具体的な貢献を加速させています。

今後も私たちは、同じ志を持つ企業や地域社会との協力体制を一層強化し、サステナブルな戦略を強力に推進します。伝統文化と自然を守りつつ、革新的な技術や新市場の機会を積極的に取り込み、企業としての社会的責任を果たしながら、地域とともに成長し続ける未来を築いていく所存です。これまで支えてくださったお客さまやパートナー企業、すべてのステークホルダーの皆さまに深く感謝するとともに、これからも「おいしい」を通じて生まれる喜びを広げながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

3.2 未来戦略と展望に向けた三本の柱

【環境保全と事業成長の両立】

私たちは、製造プロセス全体における環境負荷の低減を最重要課題と位置付け、最新の省エネルギー技術の導入やCO₂排出削減、水資源の有効活用や廃棄物の削減に取り組んでおります。さらに、今後は再生可能エネルギーの利用拡大や製造プロセスの革新を通じ、循環型ビジネスへのシフトを推進し持続可能なモデルの確立により、自社の成長と環境保全の両立を図っていきます。

【従業員と地域社会との協働による沖縄への貢献】

私たちは、企業活動の中心にステークホルダーとの強固な連携を据え、従業員や地域社会との協働を実現します。従業員はパートナーで、その成長がそのまま自社の成長に繋がることを強く意識し、柔軟な働き方の推進や労働環境の継続的な改善を進めるだけでなく、学びや成長の機会の創出に注力し、エンゲージメントを高めたいと考えています。さらに、沖縄に根差した企業として、地域社会との連携、食文化の発信、観光や文化の振興を通じた経済活性化に寄与することで、単なる利益追求に留まらず、長期的な社会的価値の創出を実現していきます。

【ガバナンス体制の強化による迅速な意思決定と予期せぬ事態への備え】

私たちは、透明性と倫理感を重視した経営体制の確立を最優先課題と捉え、従業員の自律性を高め、コンプライアンスの徹底やリスク管理の強化を推進しています。多様な意見を尊重し、幅広い視点から迅速な意思決定を目指します。また、事業継続計画（BCP）のテストや訓練を通じ、予期せぬ事態への迅速な対応が可能な体制やプロセスを構築していきます。

1

環境保全と事業成長の両立

2

従業員と地域社会との
協働による沖縄への貢献

3

ガバナンス体制の強化による
迅速な意思決定と予期せぬ
事態への備え

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

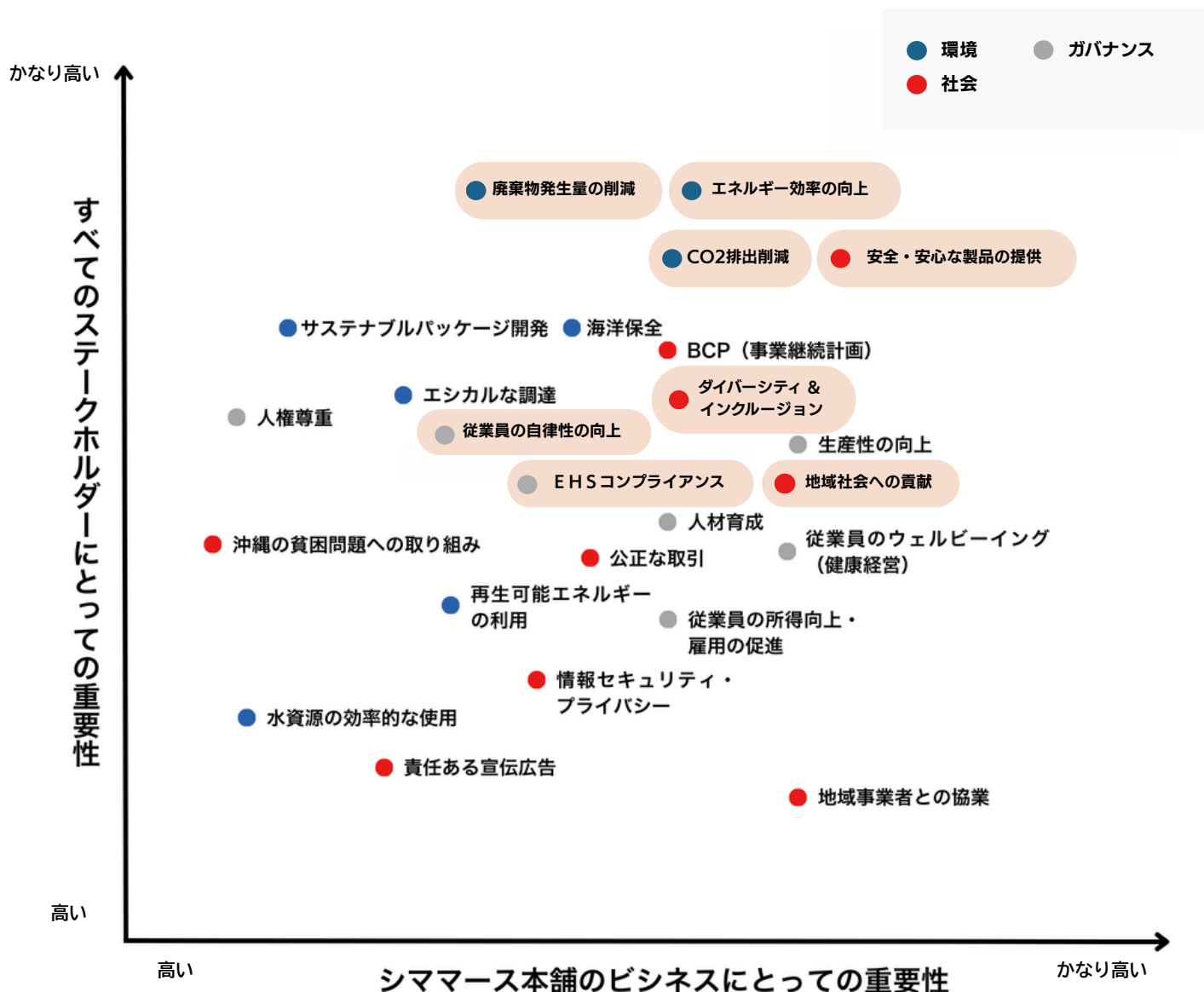
外部認証

4. シママース本舗のマテリアリティ

4.1 事業課題の洗い出しと評価

当社は事業活動を通じて取り組むべき課題を毎年見直し、社内外へのヒアリング調査や議論に基づき、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の視点で抽出しています。「従業員・お客様・お取引先・地域社会を含む、すべてのステークホルダーに対する重要性」と「当社ビジネスにおける重要性（財務的影響度）」という二つの評価軸により、2025年度において24項目の事業課題を洗い出しました。

そこから各課題の緊急性、経営への影響度、実現可能性、さらには市場環境や社会情勢の変動といった要素を総合的に評価し、2025年度において優先度が高い8項目のマテリアリティ（重要課題）を決定いたしました。これら8項目については具体的かつ実行可能な戦略アクションを策定し、持続可能な成長と社会的価値の創出に直結する施策として展開してまいります。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

4.2 シママース本舗のマテリアリティ（重要課題）

マテリアリティ	戦略アクション	SDGs目標
環境		
CO ₂ 排出量の削減	塩作りにおける製法を平釜から立釜へ移行し、燃料コストの低減と省エネルギーを実現します。立釜はMVR型真空蒸発装置を採用し、2022年度のCO ₂ 排出量実績（スコープ1+2合計）から25%削減を目指します。	 
エネルギー効率の向上	MVR型真空蒸発装置の導入により、熱エネルギーを再利用し、省エネルギー化を推進します。省エネ法に基づくエネルギー消費原単位において、2022年度比20%向上を目指します。	 
廃棄物発生量の削減	廃棄物の処理プロセスを見直し、再利用可能な資源を増やすことで、廃棄物発生量を抑制します。廃棄物発生量を正確に把握したうえで、今後年15%削減を目指します。	
社会		
安全・安心な製品の提供	食品メーカーとして、お客様が安心できる製品の提供を行います。ISO22000認証を維持し、2028年までにFSSC22000認証の取得を目指します。また、自社で内部監査を継続実施し、食品安全管理体制を強化します。	
ダイバーシティ&インクルージョン	多様な人材が互いの違いを尊重しつつ、公平で透明性の高い制度を構築・運用することで、従業員の能力を最大限発揮できる組織をつくります。このことで従業員の自律性が向上し、継続的改善、イノベーションや企業価値向上につながることを目指します。	   
地域社会への貢献	- 地域の子ども食堂への物品や資金の提供、運営の補助を継続的に実施します。 - 読谷村の観光体験施設Gala青い海では、工芸市/やちむん市/琉球ガラス市などを定期開催し、観光と文化の発信拠点を目指します。 - 沿岸地域での自然保護活動と海洋汚染防止のため、地域住民とも協力してビーチクリーン活動を定期的に実施します。	
ガバナンス		
従業員の自律性向上	ミッションステートメント、行動原則・行動指針、スローガン、行動規範がひとりひとりの従業員へ深く根付き、それぞれの意思決定や行動に実装していくような仕組みを作ります。	
EHSコンプライアンス	環境・労働安全衛生に関する法規制の遵守、違反ゼロを継続します。万が一違反が発生した場合、原因分析に基づき是正処置を速やかに計画・実行し、その実効度を確認します。	 

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

4.3 ライフサイクルアセスメント（LCA）

シママース本舗は、事業活動において製品品質と環境保全の両立を実現するという理念のもと、製造工程に添加物や加工助剤を使わない製造プロセスを実現しています。

当社は製造工程のみにとどまらず、原材料（天日塩など）の調達から生産工程、その後の消費・廃棄に至るまでの、食品ライフサイクル全体を定量的に評価するLCAを導入しています。

各工程でのエネルギーの消費や各プロセスで発生する環境負荷を正確に把握することで、廃棄物の削減と資源循環の強化および具体的な廃棄物削減策を塩製造プロセスに組み込み、各工程の改善目標の設定と達成を推進していきます。

当社製品が環境に与える影響を正確に把握し、その結果を製品開発や事業運営に反映させることで、より効果的な環境負荷の低減と持続可能な企業活動の実現を目指します。また、LCAの結果は、マテリアリティ（重要課題）の分析と特定とも関連していきます。

ライフサイクルアセスメント（LCA）とは

LCAとは、製品やサービスが生まれてから廃棄・リサイクルされるまでのライフサイクル、つまり一生を通じて発生する環境負荷を定量的に評価する手法です。LCAは資源採取、原材料生産、製品生産、流通・消費、廃棄・リサイクルというライフサイクル全体の環境影響を評価するものです。また、ISO14040／14044で国際標準的な評価ルールが定められており、世界共通の手法として利用されています。

工程	環境負荷評価軸	現状の取り組み
原料調達 沖縄糸満沖合約2,000mからの海水を取水 シママースはメキシコまたはオーストラリア産の 天日塩を調達・貯留	取水・原塩輸送時のエネルギー消費	調達距離の最適化、 利用廃水の循環 海水の成分分析・検査
濃縮と結晶化 天日塩を海水に溶解、または海水を逆浸透膜を用いて塩 分濃度を高め濃縮 濃縮した海水を平釜または立釜で結晶化	濃縮・結晶化工程のエネルギー消費	立釜導入による省エネルギー化
脱水 結晶化させた塩を脱水・乾燥	脱水工程時のエネルギー消費	機械脱水へ変更 （遠心分離機）
包装 生産された塩を成分検査・異物除去 各製品パッケージへの包装	包材の使用量・廃棄量、工程のエネルギー消費	パッケージへの紙包材や バイオマス包材の導入 包装ラインの自動化
出荷 物流パートナーと連携し最適な方法を選択し出荷	輸送に伴うエネルギー消費	積載効率の向上と 業務効率化

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

5. 環境への取り組み

5.1 達成目標・戦略アクション・2025年度の進捗状況

A. CO₂排出量の削減

- 達成目標: 製造工程の改善によって、スコープ1 + 2 CO₂排出量を2030年までに2022年度比25%削減を目指します。
- 戦略アクション: 平釜から立釜（MVR型真空蒸発缶）への移行により、エネルギー効率を大幅に向上させ、製造過程で発生するCO₂排出量を削減します。

<2025年度の進捗状況>

- 2025年度実績 5,346 t-CO₂（2022年度比3%削減）
- 新工場の本稼働、立釜への転換が定着する2026年度以降、削減が進むと見込んでいます。

B. エネルギー効率の改善

- 達成目標: 工場全体のエネルギー消費効率20%向上を目指します。
- 戦略アクション: MVR型蒸発装置の導入により、熱エネルギーを再利用し、省エネルギー化を推進する。

<2025年度の進捗状況>

- エネルギー消費原単位 2025年度実績 0.45 kL/t
- 設備更新に伴う一時的なエネルギー消費増により、原単位は前年比12%増となりました。2026年度の本稼働以降、新設備による省エネ効果が顕在化する見込みです。

C. 廃棄物発生量の削減

- 達成目標: 製造過程で発生する廃棄物の発生量を年15%削減する。
- 戦略アクション: 廃棄物の処理プロセスを見直し、再利用可能な資源を増やし、廃棄物の発生量を抑制する。

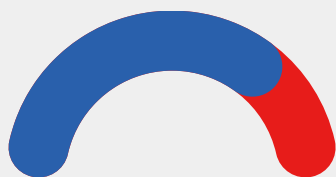
<2025年度の進捗状況>

- 2025年度実績 49 t（前年度比48%増加）
- 工場リニューアル工事に伴い、廃棄物が一時的に増加しました。今後は新工場の安定稼働に合わせ削減を進めます。

CO₂排出量

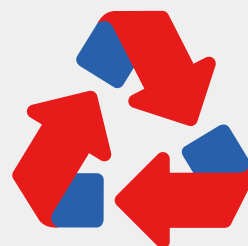
25%削減

エネルギー消費効率



20%向上

廃棄物発生量



15%削減

本レポートについて	歴史と歩み	パーパス・企業理念・行動規範	未来戦略と展望	マテリアリティ	環境への取り組み	人・社会への貢献	ガバナンスの強化	外部認証
-----------	-------	----------------	---------	---------	----------	----------	----------	------

5.2 CO₂排出量とエネルギー消費原単位の算定

当社は、排出係数の更新および活動量データの精緻化等に伴い、過去のCO₂排出量を再計算しています。以下の表に掲載している過年度データ（2022～25年度）は、最新の算定方法およびデータに基づき遡及的に修正した数値です。これにより、一部年度においてCO₂排出量が従来開示値から変更されていますが、時系列比較の一貫性は確保されています。

当社はまた、製造現場におけるエネルギー効率の指標として、エネルギー消費原単位を採用しています。製品構成や工程特性の影響を考慮しつつ、継続的な改善活動により原単位の低減を図っています。

【CO₂排出量推移】

単位：t-CO ₂	分類	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
スコープ1	LPG	105	102	105	173
	軽油	10	9	10	12
	ガソリン	4	5	2	2
	合計	120	117	117	187
スコープ2	電力	551	938	858	1,302
ロケーション基準	産業用蒸気	4,865	4,649	4,187	3,857
	合計	5,415	5,587	5,045	5,159
	合計	5,535	5,704	5,162	5,346
2022年度比 CO ₂ 排出量削減率		基準	3%増	7%減	3%減

本レポートについて	歴史と歩み	パーパス・企業理念・行動規範	未来戦略と展望	マテリアリティ	環境への取り組み	人・社会への貢献	ガバナンスの強化	外部認証
-----------	-------	----------------	---------	---------	----------	----------	----------	------

【工場におけるエネルギー消費原単位推移】

項目	分類	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量	電力	kWh	1,269,161	2,140,543	2,027,585	3,077,205
	蒸気	GJ	81,705	71,093	64,029	58,978
	軽油	kL	4	3	4	5
	LPG	m³	16,098	15,701	16,045	26,438
原油換算係数	電力	kL/kWh	0.00025	0.00025	0.00025	0.00025
	蒸気	kL/GJ	0.02557545	0.02557545	0.02557545	0.02557545
	軽油	kL/kL	1.08	1.08	1.08	1.08
	LPG	kL/m³	0.00066	0.00066	0.00066	0.00066
エネルギー原油換算	電力	kL	317	535	507	769
	蒸気	kL	2,090	1,818	1,638	1,508
	軽油	kL	4	4	4	5
	LPG	kL	11	10	11	17
	合計	kL	2,422	2,367	2,159	2,300
総生産量	塩	t	5,201	4,347	4,582	4,544
	砂糖	t	701	664	600	565
	合計	t	5,902	5,011	5,182	5,109
エネルギー消費原単位		kL/t	0.41	0.47	0.42	0.45
	2022	年度比	基準	13%増	2%増	12%増

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

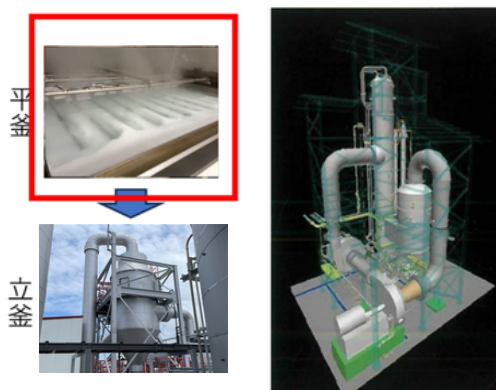
人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

5.3 平釜から立釜への転換

シママース本舗は長年、平釜方式で塩の生産に取り組んできましたが、従来の方式では熱効率に課題があり、また開放型の生産工程であることから、生成される塩の粒形が均一にならず、食品業務用向け取引先が求める安定品質の確保が難しいという課題もありました。これらの課題を解決すべく、製法を立釜方式に切り替えることを決断し、資金調達と投資を実行。2026年度の本稼働を計画しております。



立釜への代替メリット

1. 耐食性と安定性:

立釜はチタン製で耐食性に優れ、腐食しにくく、長期間安定して利用できます。

2. エネルギー消費の低減:

立釜はMVR型蒸発装置を採用しており、発生した熱量を循環させて再利用できることで、エネルギー消費量を大幅に低減し、結果的にCO₂削減に寄与します。使用電力費は一部増加しますが、油脂燃料費を大幅に削減できます。この設備は省エネ補助金で採択実績があるため、信頼性も高いです。

3. 製造コストの抑制と増産:

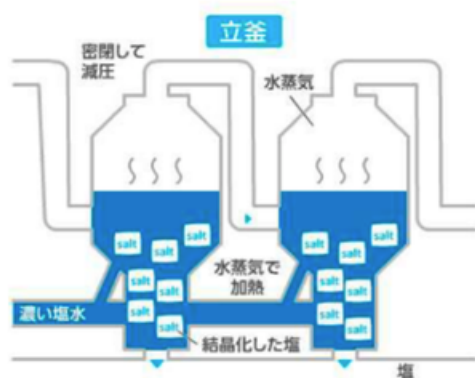
立釜は電力で稼働し、MVR型蒸発装置の採用により熱量を循環して再利用できるため、省エネルギー化が図れます。これにより、製造コストを抑えつつ、増産が可能です。

4. 品質の向上:

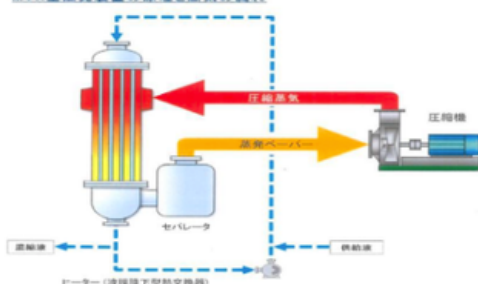
密閉型の生産方式に転換することで外部環境からの影響を受けにくく、顧客が求める成分や品質の均一化、異物混入の極小化を図りながら、増産に対応できます。

5. 省力化と作業環境の改善:

製造現場での要員を省人化でき、さらに従業員の高温の現場で釜から塩を掻き出す重労働から解放することが可能になります。



MVR型蒸発装置の原理と蒸気の流れ



導入予定の MVR 型蒸発装置

平釜から立釜への転換により、製造工程全体の効率化と環境負荷の低減が期待され、持続可能な生産体制を強化できます。これにより、2022年度のCO₂排出量5,535t-CO₂から、2030年までに25%削減を目指しています。

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

5.4 立釜・遠心分離機の導入における工程の変化

導入前



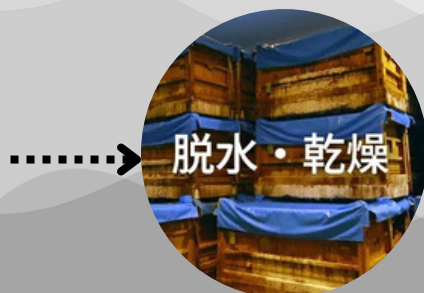
海水濃縮



平釜煎熬



結晶化



脱水・乾燥

自然脱水



粉碎・包装工程へ



導入後



立釜



MVR(自己蒸気機械圧縮)型蒸発装置を採用、発生した熱量を効率的に循環・再利用。



遠心分離機



塩の脱水工程を自動化し、完成までの期間を短縮、従業員の作業を効率化、均一な脱水で製品品質が安定。

立釜と遠心分離機の導入により、塩の製造工程が大幅に効率化され、持続可能性が飛躍的に向上します。従来の平釜では熱損失が課題でしたが、MVR型蒸発装置を搭載した立釜(真空蒸発装置)は、発生した熱を効率的に循環・再利用することでエネルギー効率を著しく改善できます。さらに、従来多大な労力を要していた塩の掻き出し作業や脱水前の準備、脱水プロセスがワンストップで対応可能となり、作業環境も大きく改善。結果として、高温の過酷な環境下での作業が不要となり、スタッフの負担軽減と生産性向上が実現されます。エネルギーの効率的な活用と働きやすい労働環境の整備に寄与し、持続可能な生産体制の確立に向けた明確な成果が実現されます。

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

6. 人・社会への貢献

6.1. 達成目標・戦略アクション・2025年度の進捗状況

A. 安心・安全な製品の提供

- ・ 達成目標: 国際規格ISO22000認証を維持し、2028年までにFSSC22000認証の取得を目指す。
- ・ 戦略アクション: 全従業員に対して安全衛生研修の年間受講率を100%、安全管理者の資格保有者を10名以上にする。

<2025年度の進捗状況>

- ・ ISO22000認証を維持しています。
- ・ FSSC22000認証の取得に向けて、プロジェクトチームで準備を進めています。
- ・ 安全衛生研修については全従業員100%受講を目標としていましたが、一部未受講者が発生しました。未受講者へのフォローを行い、次年度に向けて受講率向上に取り組んでいます。
- ・ 安全管理者の資格保有者は2025年度終了時点で10名に到達しました。

B. ダイバーシティ&インクルージョン

- ・ 達成目標①: 2026年度までに全従業員の20%がリモートワークやフレックスタイム制度での勤務を選択できる体制を確立し、従業員の総合満足度を20%以上向上させる。
- ・ 戦略アクション: 沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業認証の取得

<2025年度の進捗状況>

- ・ 年に一度従業員満足度調査を実施しており、2025年度の総合満足度スコアは2023年度比20%向上を達成しました。調査結果を踏まえ、働き方改革やコミュニケーション改善施策を推進しており、従業員満足度のさらなる向上に取り組んでいます。
- ・ 沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業認証の取得に向けた取り組みを進めており、2025年12月に認証申請を完了しました。現時点、審査・認証決定プロセスが進行中です。
- ・ 当社は製造現場を中心に対面での業務が必要な職種が多いことから、リモートワークやフレックスタイム制度の導入については業務特性を踏まえた段階的な対応としています。まずは間接部門などを中心に、柔軟な働き方の拡充を検討してまいります。

- ・ 達成目標②: 2026年度までに、管理職に占める女性の割合を15%まで引き上げ、障がい者の雇用率を1.8%以上にする。
- ・ 戦略アクション: 女性と障がい者のキャリア育成支援プログラムを導入し、昇進機会の平等を提供する。

<2025年度の進捗状況>

- ・ 女性管理職比率は、課長代理以上の場合21%、課長以上の場合7%を維持しています。
- ・ 障がい者の雇用率においても目標達成を維持しています。

- ・ 達成目標③: 2026年度までに、従業員の健康診断受診率100%を維持し、ストレスチェック実施後のフォローアップ面談を全従業員に提供する。
- ・ 戦略アクション: 定期健康診断とストレスチェックを義務付け、産業医との連携によるフォローアップを徹底する。産業医の配置と必要な医療体制の整備を進め、段階的にフォローアップ面談の対象者を拡大する。

<2025年度の進捗状況>

- ・ 健康診断およびストレスチェック受診率はともに100%を達成しました。

C. 地域社会への貢献

- ・ 地域の子ども食堂への物品や資金を提供する。運営の補助を継続的に実施する。
- ・ 読谷村の観光体験施設Gala青い海では、工芸市/やちむん市/琉球ガラス市などを定期開催し、観光と文化の発信拠点を目指す。
- ・ 沿岸地域での自然保護活動と海洋汚染防止のため、地域住民とも協力してビーチクリーン活動を定期的 to 実施する。

<2025年度の進捗状況>

- ・ 継続的に地域社会への貢献活動を実施しています。

安全・安心な製品の提供



ダイバーシティ&インクルージョン



地域社会への貢献



本レポート
について

歴史と歩み

バーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

6.2 安心・安全な製品の提供

シママース本舗は、人々の健康と社会への貢献に真剣に取り組めます。

また食品安全を最優先に考え、その厳密な製品管理を続けてきた証として、国際規格 ISO22000を取得しています。

当社の食品安全体制は、経営のすべての層にわたって自律的に運営されており、委員会を中心とした内部監査や種々の対応を通じて、常に改善を図っています。委員会は定期的にメンバーを入れ替え、全社的に新たな視点を取り入れることで、食品安全に対する意識を高めています。

私たちは、こうした継続的な努力によって、製品の安全性と品質を確保し、消費者に安心して選んでいただける「おいしい」を提供し続けます。また取り組みを通じて、地域社会や広く社会への貢献を果たしていきたいと考えています。

ISO22000とは

ISO22000とは、国際標準化機構が定めた食品安全の規格で、FSMS（食品安全マネジメントシステム）とも呼ばれます。この規格は、経営のしくみを含むマネジメントシステム部分と、HACCP（危害要因分析と重要管理点）部分から構成されています。総じて、食品事故発生リスクの低減と再発防止を目的とした仕組みであり、取得することで企業が食品安全に関する取り組みを確実に実施していることを証明します。

シママース本舗では、常に社内でも自律的に内部監査を行い、委員会が中心となってISO対応、内部監査、指摘事項の改善策を進めています。また委員会は定期的にメンバーを入れ替え、食品安全に関するプロセスを見直すことを繰り返すことで、全社的な意識や新たな視点を取り入れています。

このような仕組みを運営することで、歴史と試行錯誤を重ねつつも、従業員全員が食品安全に対して高い意識を持ち、自信を持って取り組むことができる体制を築いています。シママース本舗は、食品製造業としての自負を持ち、常に安全で健康的な製品を提供し続けることを目指しています。



FSSC22000について

シママース本舗では、FSSC 22000の取得に向けて食品安全と品質のマネジメントシステムのレベルアップを図っています。FSSC 22000は、食品安全マネジメントシステムに特化した国際的な認証スキームで、主に食品製造業向けに設計されています。この認証体系はISO 22000の規格を土台としており、食品セクターに特有の前提条件プログラム（ISO/TS 22002 シリーズやその他の技術仕様）とFSSC 22000特有の追加要求事項を組み入れています。

GLOBAL FOOD SAFETY INITIATIVE (GFSI) に認定されているため、世界中の食品製造業者や小売業者から高く評価されており、この認証を取得することにより、世界的に認められた食品安全基準を遵守していると証明でき、消費者に対して製品の安全性と品質を保証する有力な手段となります。シママース本舗では、この認証取得に向けて体制を整えており、FSSC22000を通じて企業の食品安全管理の質をさらに高めることを目指しています。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

6.3 ダイバーシティ&インクルージョン

～女性や障がい者も活躍できる仕事場づくり～

シママース本舗では、多様性と包括性を推進し、従業員全員が活躍できる職場環境を整えます。2026年3月時点、従業員の43%が女性であり、生産や事務等の両部門で幅広く活躍しています。また、女性管理職比率は、課長代理以上の場合21%、課長以上の場合7%を維持しています。また、3名の障がい者が在籍しており、工場や倉庫での運搬作業に携わっています。多様なバックグラウンドを持つ従業員が協力し合い、共に成長できる職場環境を提供することで、全従業員の能力を最大限に引き出しています。

～有給休暇取得推進への取り組み～

シママース本舗は、社員一人ひとりが働きがいを感じる魅力的な職場環境の実現に力を入れています。有給休暇は時間単位で取得が可能であり、法定外の有給休暇も5日付与しています。会社全体で有給休暇の取得を推進しており、2025年度の年次有給休暇取得率は約80%、24年度と比較して10%向上しました。

また、2025年度の男性を含めた従業員の産休・育休の取得率は75%となっており、今後、育休取得を義務化することも検討しております。

～時間外労働短縮への取り組み～

2025年度の一人当たりの平均時間外労働時間は、新工場の稼働準備や立釜への移行作業が大きく影響し、約12時間（前年度から5時間増）でした。新工場の稼働が定着する2026年度以降は、各部署において業務の標準化と効率化を徹底し、時間外勤務の削減を推進してまいります。また、従業員のワークライフバランスを改善し、より健康的で生産性の高い職場環境づくりを実現していきます。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

～従業員エンゲージメント向上～

シママース本舗は、従業員とのコミュニケーションを重視し、自主性を尊重しています。従業員からの意見を経営に積極的に取り入れることで、より良い職場環境を築いています。自社にとって良いニュースがあった際（例えば顧客の菓子メーカーがシママース本舗の塩を使った新製品を販売し市場から高評価を得た）は、従業員全体での情報共有LINEでそのニュースを共有します。

また、従業員からの意見や業務改善を評価する「改善提案制度」を導入し、特に効果の高いものやアイディアに対しては、年に4回表彰の機会をつくっています。表彰事例として例えば、従業員からの改善提案に基づいて生産ラインの配置換えを行い、生産に必要な人員を減らすことに成功した事例があります。このような全社での取り組みを通じて、効率的・効果的で、働きやすい職場を実現し、従業員のウェルビーイングを向上させていきたいと考えています。

～従業員満足度調査の実施～

シママース本舗は、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。2021年に日本生産性本部による従業員満足度調査を実施し、その後も毎年同様の調査を自社で継続しています。2025年度の総合満足度スコアは2023年度比20%向上を達成しました。調査結果は従業員にフィードバックし、従業員と上司の1on1ミーティング、役員と全従業員の1on1ミーティング、会社へのご意見箱の設置などを通じて、幅広い意見を聴取しています。

また、全社集合研修やリーダー向け研修を定期的実施し、会社と従業員の目線合わせを図っています。2021年には新人事・評価制度を導入し、従業員の貢献を可視化し処遇に反映させることで、従業員にとって満足度の高い働きがいのある企業を目指しています。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

6.4 地域社会への貢献

子供達に「おいしい」未来を

シママース本舗は、地域の子どもたちへ「おいしい」未来を提供するため、自社製品を子ども食堂に無償で提供しています。また、月に1回、役員・従業員による調理補助などの実運営を行っています。さらに、その他民間ボランティア団体へ運営費や物品の寄付も行い、沖縄の貧困問題への一助となるように努めています。



沖縄文化の振興

シママース本舗が沖縄の文化振興に取り組む理由は、地域の伝統や文化を次世代へ継承し、地域社会の活力を高めるためです。沖縄に長く根差した企業として、伝統的な文化を未来へ受け継ぐことは重要な使命と捉えます。その価値を国内外に広く発信することで、観光振興ひいては経済活性化にも寄与すると考えています。

読谷村の観光施設「Gala青い海」を拠点に、地元の工芸と連携した沖縄の体験プログラムを充実させています。また、「読谷やちむんと工芸市」や「春のやちむん市」といったイベントを通じ、来訪者に沖縄ならではの伝統工芸や文化を身近に感じてもらう機会を提供し、地域住民と観光客がともに沖縄文化を享受できる環境を整えます。

さらに、子ども向け教育プログラムや、産学官連携による地域コミュニティ全体での参加型施策を展開し、文化の継承と観光振興を両立させる取り組みを推進。これにより、私たちは企業としての成長とともに、沖縄ブランドの確立、ひいては持続可能な地域社会の発展を実現していく所存です。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

Gala青い海の運営

Gala青い海は、沖縄の塩をテーマとした観光施設として2005年に読谷村で開業しました。当初は自社で運営する店舗を中心に展開してきましたが、近年は地域のビジネスパートナーへのテナント運営へシフトし、キャッシュフローの改善を図っています。今後も、さらなる魅力向上と事業拡大に努めてまいります。Gala青い海事業は、次の中核事業への発展を目指し、読谷村に点在する世界遺産や文化的名所（座喜味城跡・やちむんの里など）をはじめとする地域資源を活用し、多くのパートナー企業と協力しながら沖縄の魅力を広く伝えています。これからも、地域との連携を強化しながら、観光・産業の両面で新たな価値を生み出す取り組みを続けてまいります。

施設では東シナ海の壮大な背景を前に、陶芸、ガラス工芸、ダイビング、乗馬など多彩なアクティビティを提供しており、訪れるすべての方々が沖縄の自然と文化を体感することができます。飲食エリアではアメリカンピザやメキシコ料理のブリー、季節の食材を活かした創作料理を楽しむことができ、ショッピングゾーンでは地元や全国から選ばれたやちむん（陶芸）、琉球ガラスの作品や沖縄の特産品を幅広く取り揃えています。毎年春には「春のやちむん市」、秋には「読谷やちむんと工芸市」を開催し、地元のやちむん工房・作家や沖縄各地の琉球ガラス工房が参加し、沖縄の工芸品の魅力を多くの来場者に紹介しています。



ビーチクリーン活動

プロジェクトマナティは、いつでもどこでも気軽にビーチクリーン活動に参加できるプロジェクトです。地域のパートナー（カフェ、共同売店、民宿など）にマナティバッグをはじめとする清掃グッズが常備されており、参加者は500円を支払ってゴミ拾いセットをレンタルし、自由に清掃活動を行うことができます。清掃活動後、パートナーが適切にゴミを処理してくれる仕組みです。このプロジェクトにより、手ぶらで参加し、手ぶらで帰宅できるカジュアルな形でビーチクリーン活動が可能になり、誰でも簡単に環境保護活動に参加することができます。プロジェクトマナティは、地域住民や観光客にとって身近な環境保護活動の一環として、広く親しまれています。シママース本舗では、このマナティプロジェクトのパートナーとして協力をしています。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

7. ガバナンスの強化

7.1. 達成目標・戦略アクション・2025年度の進捗状況

A. 従業員の自律性の向上

- 達成目標: ミッションステートメント、行動原則・行動指針、スローガン、行動規範がひとりひとりの従業員へ深く根付き、それぞれの意思決定や自発的行動に実装していくよう、仕組みを整備・運用します。
- 戦略アクション: 継続的教育訓練とコミュニケーション、成功事例の共有とフィードバック、ESG観点が盛り込まれた決定基準(=評価基準)の設定、サステナブル行動指針の策定と発信

<2025年度の進捗状況>

- 継続的教育訓練とコミュニケーションや成功事例の共有とフィードバックは日常業務の中で継続的に実施しています。
- ESG観点が盛り込まれた決定基準(=評価基準)は検討を進めています。
- サステナブル行動指針を策定し、社内公開しました。ミッションステートメントに連なる従業員の「行動指針」の内容を深掘りし、法令順守やコンプライアンスを意識して明文化しました。

B. EHSコンプライアンス

- 達成目標: 環境・労働安全衛生に関する法規制の遵守、違反ゼロを継続する。万が一違反が発生した場合は、再発防止に向けた根本原因の究明と是正処置を迅速に実行し、組織的な学習へとつなげます。
- 戦略アクション: 安全衛生管理の強化、D&Iの推進、健康経営の推進等の施策を通じて、継続的・定期的に教育訓練やコミュニケーション、成功事例の共有とフィードバックを実施する。

<2025年度の進捗状況>

- 労災件数: 0件
- EHSコンプライアンス違反や周辺地域からの苦情はありませんでした。

従業員の自律性の向上



EHSコンプライアンス



本レポート
について

歴史と歩み

バーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

7.2 ガバナンス体制

シママース本舗は、企業使命(ミッション)である「沖縄の製塩業を復活させたパイオニアとしての誇りを胸に、豊かな創造力で沖縄の海が持つすべての価値を伝え、新たな感動を生み出すことに挑戦し続けます」の実現を目指し、コーポレートガバナンスを持続的な成長の基盤と位置づけています。

コーポレートガバナンスの実施と強化を通じて、経営の透明性、公正性、迅速性を維持・向上させることを目指し、従業員、お客様、取引先、株主、地域・社会といった全てのステークホルダーとの対話を重視しています。中長期的な企業価値の最大化を図り、社会の一員としての責任を果たしながら、各ステークホルダーへの価値分配(還元)を目指しています。

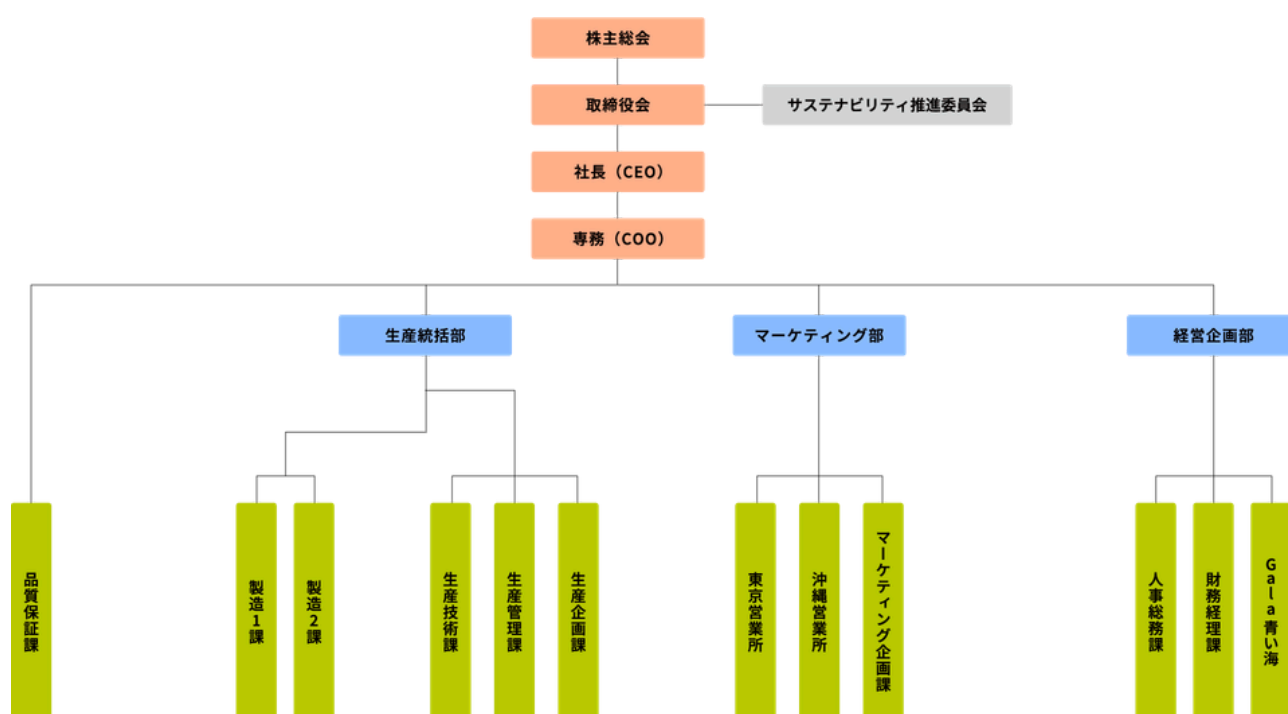
サステナビリティ推進委員会

持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化するため、取締役会に付属する「サステナビリティ推進委員会」を毎月実施しています。

委員会の主な役割:

- 目標の進捗度のモニタリング：当社が設定したサステナビリティ目標に対する進捗状況を定期的に確認します。
- アクションの実施状況の監視：環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する具体的なアクションの実施状況を評価し、必要に応じて改善策を提案します。

本委員会は、2024年度より活動を開始しており、その活動内容は、当レポートにて報告いたします。これにより、ステークホルダーの皆様に対して透明性の高い情報開示を実現し、サステナビリティ経営を一層推進してまいります。



本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

7.3 従業員一人ひとりの自律性を支援するための取り組み

シママース本舗は、前述のミッションステートメント、行動原則・行動指針、スローガン、行動規範が一人ひとりの従業員へ深く根付き、それぞれの意思決定や行動に実装していくよう、以下の仕組みを整備・運用・計画しています。

コンプライアンスホットライン（内部通報制度）

不正やハラスメント、コンプライアンス違反が発生あるいは疑いがあった場合に、匿名でも相談可能な窓口を設置しています。通報者保護のルールを明示し、誰もが安心して情報を共有できる環境を確保します。

継続的教育訓練・コミュニケーション

新入社員研修や管理職研修において、ミッションステートメントを必ず説明し、定期的によりマインドを行います。社内のワークショップやQ&Aセッションで、実際の事例に基づいた行動のポイントを共有します。

評価・キャリア支援との連動

行動原則・行動指針を体現した社員の事例を表彰する制度を導入し、正しい行動が評価に直結する仕組みを構築します。ルールの違反があった場合は、適切な対処とともに、必要な教育やサポートを提供します。今後、従業員の資格取得費用の補助および報奨金制度の導入を進めていく予定です。

成功事例の共有とフィードバック

社内報やイントラネットで、行動規範を実践した成功事例や、判断に迷った際の対処例を随時共有しています。従業員が具体的な現場の状況でどのように行動すべきかをイメージしやすい環境を整えています。

サステナビリティ活動の評価基準の設定

従業員1人1人に対するサステナビリティに関する意識向上、およびチームや個人の目標達成への積極的な関与を後押しするため、サステナビリティ活動の評価基準を今後設定する計画です。

サステナブル行動指針の策定と発信

当社の持続可能性を担保した事業運営を実現するために、従業員を含めたステークホルダー全体に求める行動基準を明確化し、責任あるサプライチェーンと信頼される企業活動を確立するための指針として、サステナブル行動指針を策定しました。今後社内外へのコミュニケーションを進めていく計画です。

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

7.4. EHSコンプライアンスの状況



違反・事故なし

2025年度において、当社に適用される環境・労働安全衛生関連法規の遵守状況を定期的にモニタリングおよび確認した結果、違反や事故はありませんでした。

主要な適用法規制と遵守状況



食品リサイクル法

定期報告および再生利用等の実施

✓ 遵守



廃棄物処理法

マニフェスト管理および適正処理

✓ 遵守



省エネ法

エネルギー使用量の把握と報告

✓ 遵守



水質汚濁防止法

排水基準の遵守と測定

✓ 遵守



労働安全衛生法

安全管理者・衛生管理者の選任、リスクアセスメント、機械設備の安全対策

✓ 遵守



労働基準法

シフト・時間管理

✓ 遵守



粉じん・騒音障害防止規則

粉じん濃度測定、換気設備、安全教育、保護具着用・騒音測定

✓ 遵守



地域社会との対話

近隣地域からの環境（騒音、悪臭、水質など）に関する苦情や訴訟の発生はありませんでした。今後も地域社会との対話を重視し、環境保全に努めます。

本レポート
について

歴史と歩み

パーパス・企業
理念・行動規範未来戦略と
展望

マテリアリティ

環境への取り組み

人・社会への貢献

ガバナンスの強化

外部認証

8. 外部認証

シママース本舗は、サステナビリティに関連した外部認証を積極的に取り入れています。このことは、お客様やお取引先様の信頼性・信用力の獲得、お取引条件のクリア、当社ブランドイメージの向上だけでなく、業務プロセスの改善・標準化、リスクマネジメントやコンプライアンスの強化にもつながるものと考えています。すでに本レポート内でご紹介しているものも含め、2025年度時点での外部評価を受けているものは以下の通りとなっております。



ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）

近年、企業の社会的責任や環境保護への取り組みがますます重要視される中、シママース本舗は「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）」を利用した資金調達を行いました。この認証は、企業がその活動を通じて社会、環境、経済に対してポジティブな影響を与えることを目指すものであり、シママース本舗が持続可能な発展を実現するために踏み出した新たな一歩を象徴しています。PIFの導入は、持続可能なビジネスへのコミットメントを約束し、金融機関やステークホルダーからの評価を受ける重要な要素となっています。



ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）とは

ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）は、企業の活動が環境、社会、経済に与える影響を包括的に評価し、ポジティブなインパクトを最大化することを目的とした融資の仕組みです。国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）が策定したポジティブ・インパクト金融原則に基づいており、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みを支援します。

PIF認証により、シママース本舗は持続可能性への取り組みをより一層強化することが可能となり、企業価値の向上とともに、社会的および環境的価値の創出にも寄与しています。具体的には、PIFを通じて、シママース本舗はCO₂排出量の削減、エネルギー効率の向上、従業員の働く満足度向上などのKPIを設定し、それを達成するための資金を調達しています。このアプローチにより、シママース本舗は単に経済的利益を追求するだけでなく、社会や環境に対する責任を果たしながら持続可能な成長を実現することを目指しています。

また、株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者意見書により、PIFの適合性が確認されており、シママース本舗の取り組みが社会的に評価されることを保証しています。これにより、シママース本舗は持続可能な社会の実現に向けたリーダーシップを発揮し、ステークホルダーとの信頼関係をさらに強固なものにしていきます。